

マスクは顔の印象を どのように変えるのか？

182G010 岩井 花音・182G056 中田 菜々子・182G079 山本 椎菜

問題（１）

- 私たちの生活の中で，顔は重要な役割をもち，相手が誰であるかという人物に関する情報を伝えたり，内的な感情状態を伝えてくれる。
- 特に，表情は，相手の感情の現在の変化を伝えるだけでなく，その人の内面的な性質を伝えることから，対人印象を形成するにも重要である。
- 顔による印象形成においては，眉毛，目，視線，口などそれぞれのパーツの動きが表情を作るうえで重要な役割を果たす。

問題（2）

- しかしながら，2019 年からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行によって，現在では常にマスクをつけた生活が一般化している。
- マスクをつけることによって，顔の印象はどのように変化するのだろうか？

○宮崎・佐藤・河原（2014）

- 顔の魅力に及ぼすマスクの効果について検討した結果，魅力度の低い顔はマスクをつけても魅力の評定値に変化はないが，魅力度の高い顔は，マスクをつけることによって魅力度が低下することを明らかにした。

問題（3）

☆ しかしながら，宮崎らが研究を行った2014 年に比べ，
現在はマスク着用についての受け止め方は大きく変化したのではないだろうか？（例えば，黒いマスクの印象は大きく変わったはず！）

- 本研究の目的

- 。 マスクを着用することによって，顔から受ける印象がどのように変化するかを実験的に検討する。

方法（1）

- 実験参加者
 - 。 大学生参加者32名
- 刺激
 - 。 This Person Does Not Exist (<https://thispersondoesnotexist.com/>) から5名の顔画像を収集し、CGモデルで作成したサージカルマスク画像を適用した（マスクなし，白マスク，黒マスクの3条件）。



顔 1

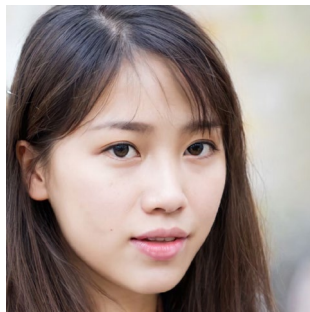
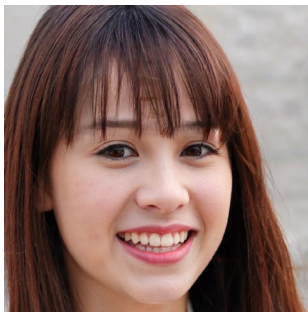
顔 2

顔 3

顔 4

顔 5

マスクなし



白マスク



黒マスク



方法（2）

- 手続き

- 。表情と魅力度の関係性の研究を行った伊師・行場・蒲池（2003）および伊師（2011）を参考に、顔からの印象に関する4因子（活力性，柔和性，美感性，支配性）に基づき，「消極的なー積極的な」，「つめたいーあたたかい」，「品のないー品のある」，「弱々しいー力強い」に加えて「魅力的でないー魅力的な」の5つの評定尺度を用いて，参加者に刺激顔に対する印象評定を行ってもらった。

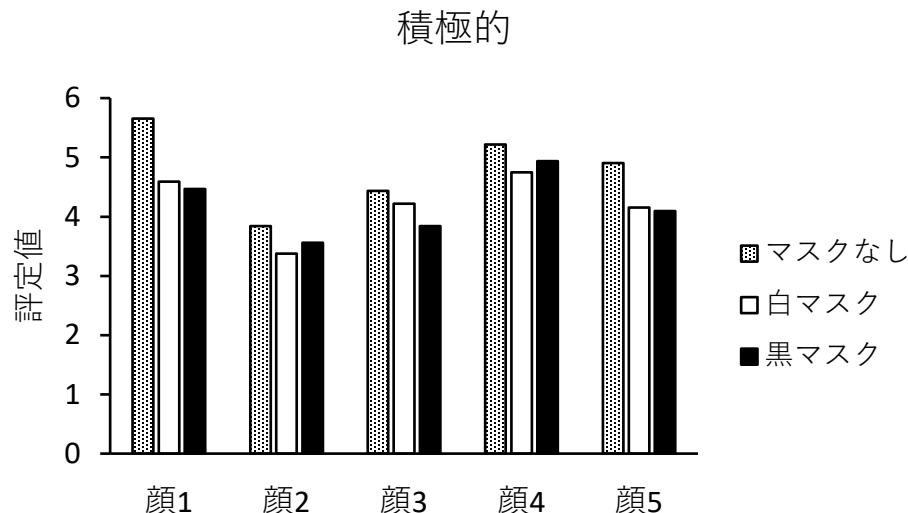


結果（１）

- ５種類の顔の印象評定項目，積極的な，あたたかい，品のある，力強い，魅力的な，のそれぞれの評定値を従属変数として，マスク条件（３水準：マスクなし，白マスク，黒マスク）×顔の種類（５水準）の２要因分散分析を行った。

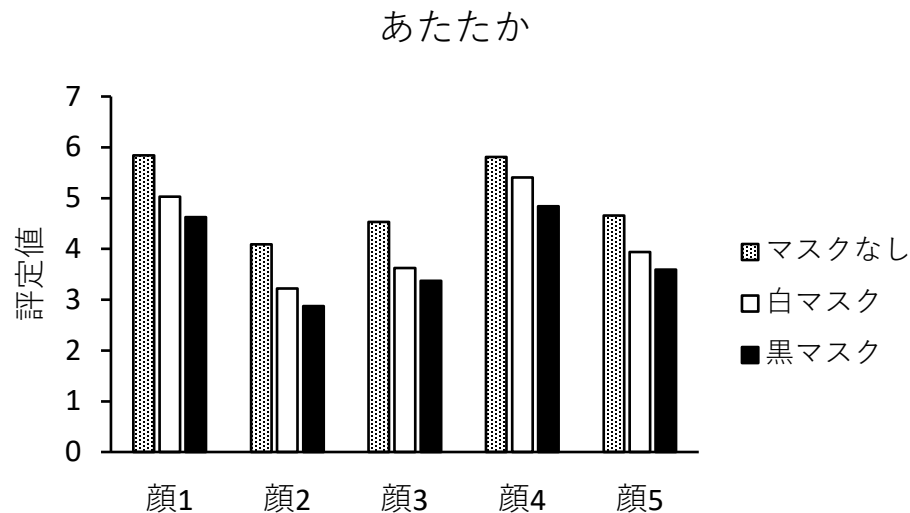
結果（２）

- 「積極的な」の結果
 - マスクの主効果が有意 ($F(2,62) = 12.02, p < .0001$)
 - マスクなし > 白マスク ≒ 黒マスク
 - 顔の主効果が有意 ($F(4,124) = 22.25, p < .0001$)
 - 顔4 ≒ 顔1 > 顔5 ≒ 顔3 > 顔2
 - 交互作用は有意ではなかった ($F(8,248) = 1.50, ns$)



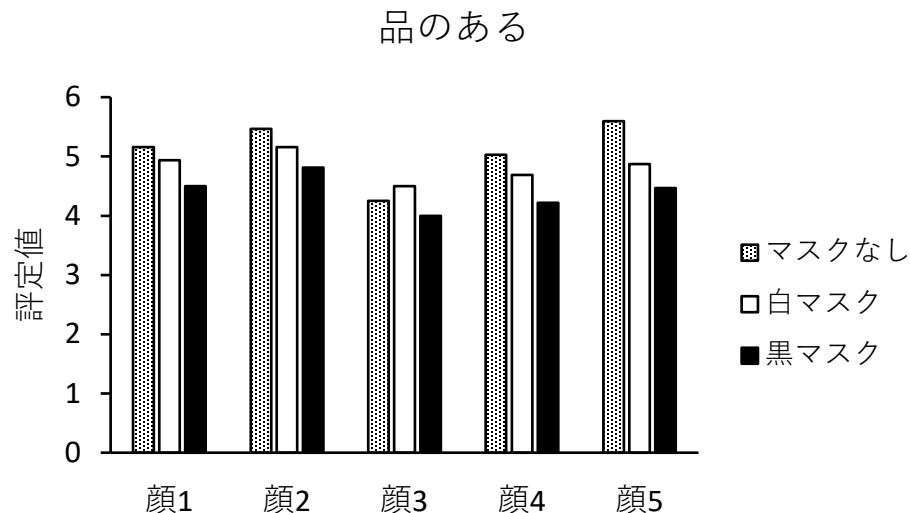
結果（3）

- 「あたたかい」の結果
 - マスクの主効果が有意 ($F(2,62) = 28.58, p < .0001$)
 - マスクなし > 白マスク > 黒マスク
 - 顔の主効果が有意 ($F(4,124) = 64.55, p < .0001$)
 - 顔4 ≧ 顔1 > 顔5 ≧ 顔3 > 顔2
 - 交互作用は有意ではなかった ($F(8,248) = 0.43, ns$)



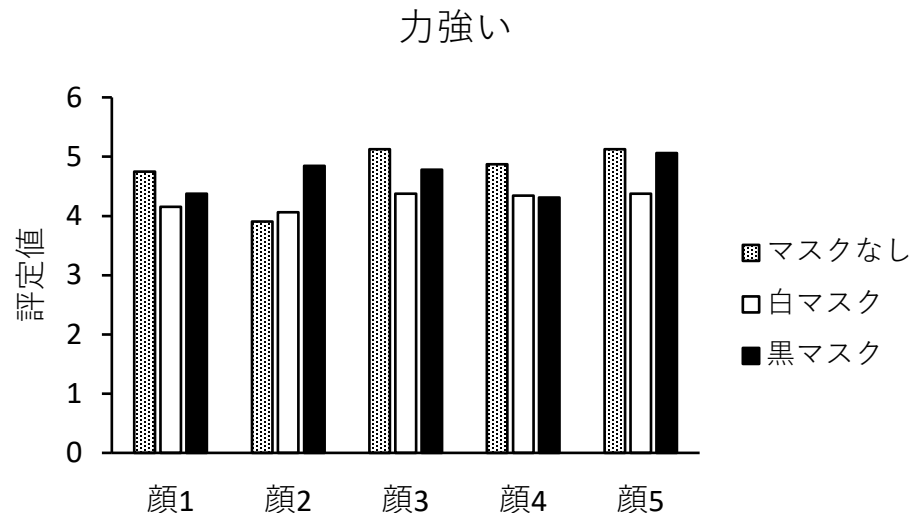
結果（４）

- 「品のある」の結果
 - マスクの主効果が有意 ($F(2,62) = 9.57, p < .0005$)
 - マスクなし $\div$ 白マスク $>$ 黒マスク
 - 顔の主効果が有意 ($F(4,124) = 22.25, p < .0001$)
 - 顔2 $\div$ 顔5 $\div$ 顔1 $\div$ 顔4 $>$ 顔3
 - 顔2 $>$ 顔4
 - 交互作用は有意ではなかった ($F(8,248) = 1.83, ns$)



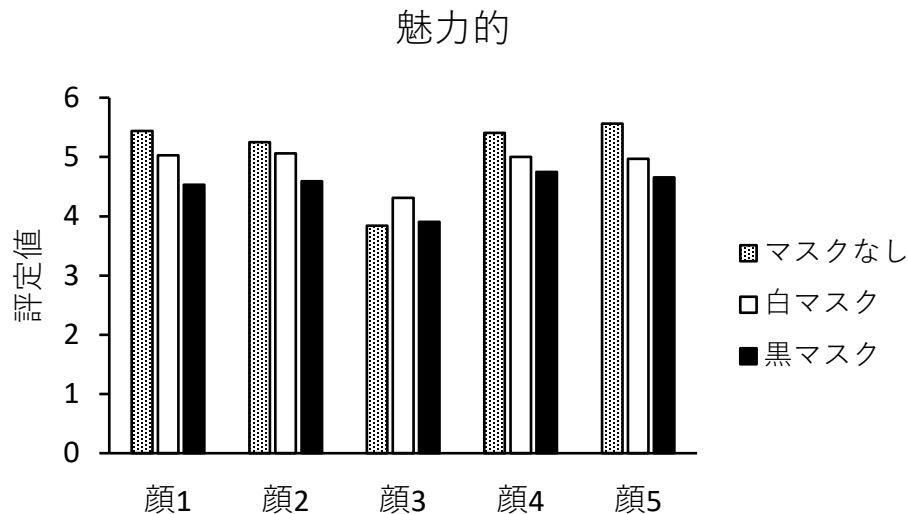
結果（5）

- 「力強い」の結果
 - マスクの主効果が有意 ($F(2,62) = 5.63, p < .01$)
 - マスクなし $\div$ 黒マスク $>$ 白マスク
 - 顔の主効果が有意 ($F(4,124) = 2.91, p < .0001$)
 - 顔5 $\div$ 顔3 $\div$ 顔4 $\div$ 顔1 $\div$ 顔2
 - 顔5 $>$ 顔2
 - 交互作用も有意だった ($F(8,248) = 3.39, p < .001$)
 - 顔2 : 黒 $>$ 白 $\div$ なし
 - 顔3 : なし $\div$ 黒 $\div$ 白 (なし $>$ 白)
 - 顔5 : なし $\div$ 黒 $>$ 白



結果（6）

- 「魅力的な」の結果
 - マスクの主効果が有意 ($F(2,62) = 8.35, p < .001$)
 - マスクなし ≧ 白マスク > 黒マスク
 - 顔の主効果が有意 ($F(4,124) = 14.64, p < .0001$)
 - 顔5 ≧ 顔4 ≧ 顔1 ≧ 顔2 > 顔3
 - 交互作用も有意だった ($F(8,248) = 3.29, p < .005$)
 - 顔1 : なし ≧ 白 > 黒
 - 顔2 : なし ≧ 白 ≧ 黒 (なし > 黒)
 - 顔4 : なし ≧ 白 ≧ 黒 (なし > 黒)
 - 顔5 : なし > 白 ≧ 黒



考察（１）

- 積極的な
 - 。マスクなしが最も積極的に見えた。
 - 。笑顔（顔１，顔４）も積極的な印象を与えていた。
- あたたかい
 - 。マスクなしが最もあたたかく，黒マスクは逆に冷たく見えていた。
 - 。笑顔（顔１，顔４）はとてもあたたかい印象を与えていた。
- 品のある
 - 。黒マスクは品がないことがわかった。
 - 。顔５，顔２など，顔立ちが品の良さの印象を与えるのかもしれない。

考察（２）

- 力強い
 - 白マスクは弱そうに見えることがわかった。
 - ほとんどの顔では、マスクなしが力強く見えていたが、もともと弱く見える顔（顔２）では黒マスクが力強い印象を与えることがわかった。
 - 笑顔（顔１，顔４）ではマスクの効果がなかった。
 - ・ 笑顔も力強い印象を与えることがわかった。
- 魅力的な
 - マスクなしが魅力的で、マスクは魅力度を低下させていた。
 - ・ 特に黒マスクは確実に魅力度を低下させることがわかった。
 - 相対的に魅力度の低い顔（顔３）ではマスクの効果がなかった
 - ・ 宮崎他（2014）の結果が再確認された。

おわりに

- コロナ禍の中で、**黒マスク**も日常的によく見かけるようになったが、実験の結果は、その印象があまりよくないことを示していた。
 - 。消極的で、冷たく、品がなく、魅力的でない
- **笑顔**は、積極的で、あたたかく、力強くもあって、魅力的な印象をもたらすことがわかった。
 - 。人々が、マスクを外して、笑顔でコミュニケーションができるようになる日が早く戻ってきてほしいですね！（^^）

引用文献

- 伊師 華江（2011）．表情顔の魅力評価に関わる心理的要因 知能と情報（日本知能情報ファジィ学会誌），23，211-217.
- 伊師 華江・行場 次郎・蒲池 みゆき（2003）．笑顔強度と印象の関係性の分析 日本顔学会誌，3(2)，5-11.
- 宮崎 由樹・伊藤 史織・河原 純一郎（2014）．顔の魅力に及ぼす衛生マスクの効果 日本心理学会第78回大会発表論文集，610.